

なに歯だより

平成27年6月22日

第 11 号

発行人
九州歯科大学
大阪府同窓会

岡谷親男

〒555-0012 大阪市西淀川区
御幣島1-3-9 スモカビル2F
TEL&FAX 06-6475-2721
06okatani30@gmail.com

会長挨拶

九州歯科大学 大阪府同窓会

会長 岡谷親男



初夏の便りが届く季節になりました。平素は同窓会活動にご協力賜り、厚くお礼申し上げます。昨年は大学創立一〇〇周年記念事業が小倉で盛大に開催されました。祝賀会には大阪府同窓会からも多くの先生方が参加され、又一〇〇周年基金にも多額の浄財を拠出していただき誠にありがとうございます。

ました。大阪府歯科医師会には、本会、連盟、国保、青色申告会、付属衛生士学校の五会があります。が、今年度から大阪府同窓会を代表して、長崎三男先生が理事になられ、支払い基金審査委員に谷泰雄先生が出席していただくことになりました。これも偏に大先輩方の活躍や、各地区での歯科医師会活動に尽力されている先生方の努力の賜物だと考えております。今後多方面にわたり、同窓会員が大活躍してくれることでしょう。同窓会員も一二〇名を超え、若い先生の入会が増えておりますことが、何より喜ばしいかぎりです。

今年度も担当の先生方が有意義な企画を盛りだくさん考えてくれております。是非ともお誘いあわせのうえ、ご参加ください。最後になりましたが、公私共々多忙のなか、「なに歯だより」編集に携わって頂いた下出先生はじめ、編集委員の先生方に厚く御礼申し上げます。



花三春

陽の光が少し眩しくなるこの季節。

南天の白い花は懸命に空を見上げます。

その姿は「難を天に逃す」と言われ、福寿草と共に古来より縁起が良いとされてきました。

普段は細く庭木として植えられていることが多い南天ですが、稀にたく育った時は柱にもできるほどで、金閣寺の柱としても知られています。

南天の花は冬に向かって赤い実をつけますが、この実や葉は生薬や解毒に用いられます。

お弁当に南天の葉を入れるのは、縁起を担いだ「おまじない」の意味もありますが、「彩り」や「防腐」の意味でも理にかなっていますね。

南天の葉を見かけたら、私もそっとお弁当にしのばせてみたいと思います。

平成27年 社保講習会 新年互礼会

平成27年1月25日(日) 午後3時 於) 鳥よし

大阪府同総会の新年事始めは、恒例の社保講習会。出席者数は約四〇名でここ何年かおなじみの大阪府歯科医師会医療保険担当常務理事の林正純先生に御講演頂きました。

手渡された資料と同じ内容の社保に関わる様々な項目を、写し出された前面スクリーンにて、わかりやすく丁寧の説明して頂きました。講演途中、参加者から何回か質問も出ましたが、その都度これもまた丁寧にお答え頂きました。私は、保険点数のややこしいのとか、技術的に難しいのは苦手なので、周術期に関わる治療とか舌接触補助床(摂食嚥下機能療法)とかにはよう近づきませんが、そんな私にも算定できるお得と思われる事例を紹介させて頂きます。まずは、一初診内での再度の充形と修形です。概ね六ヶ月経過した後の再度の充形・修形は可です。もし六ヶ月以内であれば、二

度目は窩洞形成で算定可です。これらは二年前にも紹介させて頂きました。しかし頻度の問題もありますので、そこはわきまえて御算定ください。

もう一つは、有床義歯の義管で困難な場合の算定事例です。新製義歯を装着した場合、対顎に総義歯を装着していれば、新製義歯はたとえ少数歯欠損であっても困難で算定できるといふことです。

諸先生方にとっては、お得でも何でもなかったかもしれませんが、色々とご不明な点はまた来年の社保講習会でご質問下さい。

それでは今年も品のあるレセプト目指して頑張りましょう!

黒澤 治彦(大30期)

二時間たっぷり林先生による御講演の後には、お待ちかねの新年互礼会。ここ数年若手の先生の入会申し込みも進み、今年も大変な賑わいの新年宴会となりました。

西本副会長の開会の辞に続きまして、岡谷会長の新年のご挨拶の後、いつも司会をして下さる青木常務理事による乾杯の御発声で、宴会が幕開けしました。

最初に、昨秋、第四十九回大阪市市民表彰で教育功労賞(社会教育や学校教育の振興に尽力された方)を受賞された長崎三男副会長をお祝い致しました。

永年に亘る学校歯科医としての活動や大阪市学校歯科医会での役員活動が表彰の対象となり、同窓としても誇りに思います。

続いて恒例の新入会員のご紹介では、日二十七年度に正式に入会予定の大44期の松本隆司先生(東大阪市でご開業)がご挨拶されました。

林先生には、会食の間を縫って、参加者からの個別の社保関係の質問にもお答えいただき、ありがとうございました。

テーブルのここかしこに笑顔と楽しい話し声が聞かれ、今年一年のパワーを補給して、最後の集合写真撮影でお開きとなりました。

下出 一夫(大29期)



平成26年度 定時総会、 講演会、懇親会

平成二十六年五月二十四日
(土)に心齋橋のホテル日航大阪
で平成二十六年定時総会、講演
会、懇親会が開催されました。ホ
テル日航大阪での開催はこれで三
年連続となり、大阪府同窓会御用
達ホテルが、ようやくできた感が
あります。

三時から始まった総会では、各
担当から報告事項があり、そのあ
と平成二十六年予算等の議案が
滞りなく可決されました。総会の
詳細は大阪府同窓会ホームページ
の会員専用ページをご覧ください。

三時半からは、今回の目玉商品
「玉岡かおるさん講演会」があり
ました。学術担当の岩田先生が兵
庫県同窓会会長の玉岡哲朗先生
に、ビール片手に突撃膝詰め直談
判をして実現させた講演会です。
著名人気作家の講演会とあって、
兵庫県や京都府などの近隣府県は
もとより、遠くは北九州からも総

勢で一〇〇名を超える参加者があ

り、急ぎよ椅子を増設する盛況ぶ
りでした。「ドラマがこの世に生
まれるとき、作家の創作現場か
ら」と題された講演会は、予定
の時間があつと言う間に過ぎてし
まう楽しい内容で、さすがは人気
作家と思わずにはおれませんでした。

講演会のあとは玉岡かおるさん
も交えての懇親会。この時の模様
は、玉岡かおるさんも、ご自身の
フェイスブックにアップされてい
ます。

懇親会のあとは心齋橋の街に繰
り出しての二次会兼新入会員歓迎
会。これも恒例になりつつありま
す。大阪府同窓会はここ数年で会
員数が大幅に増加してきており、
関門海峡より東に限れば、東京都
を僅差で抜いて、山口県、広島県
に次ぐナンバー3の規模になつて
きました(平成二十六年七月現
在)。これからは、若い世代の先

生方にどんどん活躍してもらいた
いものです。

総会や懇親会での集合写真やス
ナップ写真はホームページに多数
アップされています。和気あいあ
いとした大阪府ならではの当日の
雰囲気は写真のほうに伝わりやす



いと思いますので、ホームページ
も是非ともご覧になってくださ
い。

加藤 聡(大33期)





ドラマが この世に 生まれるとき 作家の 創作現場から

右のテーマで、作家玉岡かおる先生をお迎えしての学術講演会が催されました。

代表作「お家さん」が、読売テレビ開局五十五年記念ドラマとして放映され、脅威の高視聴率を獲った直後という絶好のタイミングもあり、百二十人近い方々が集まって下さいました。大阪のみならず、京都・兵庫・そして遠く福岡よりのご参加まで頂きました。

講演前、同期山下先生と私が拝命したのは、玉岡先生のおもてなしでした。控室もない状況にも「なんなら（会場の日航ホテル前の）大丸ブラブラしてきますよ」とやさしく先生を喫茶室にご案内。

原稿チェック等、お一人の静な時間が必要ではーとの問いには一言「原稿ないんです」更に「言葉は勝手に出てくるんです」と驚きのお言葉が

続きました。それではと、同席させて頂いてのお茶タイム、おもてなしどころか役得のとても楽しい時間でした。

超売れっ子の先生にお越し頂けたのは、弟君が兵庫同窓会長三〇期玉岡哲朗先生であるという強力コネのお蔭ですが、講演は、かつて哲朗先生の受験に付き添ったかおる先生が、不埒な九歯大生にナンパされたーという逸話から始まりました。そして、お家さんのロケは、若松の海岸、門司の古いビル等を使って行われたと紹介下さり、私達にとっても懐かしい場所でもあり、何か浅からぬご縁を感じながら、一気にお話に引き込まれていきました。

東京進出の誘いが諸事情で果たせなかつた際、兵庫在住という事を強みに変えるべく、近くにある資料を最大限に活かそうと発想を転換された事。そしてそれを機に、その資料を基に「歴史的・世間的には有名ではないけれど、日本の為に活躍した日本人が沢山いる。そんな人達を少しでも多くの方に知って貰いたい。」との思いで執筆されている事。

お言葉通りの原稿なしで、先生の思いと知性が言葉となり迸りまします。

「お家さん」にまつわる神戸の歴史。「負けんとき」の為に取材したヴォーリス建築の素晴らしさ。会場前の心齋橋大丸もその一つであること。子供の頃から遊び場にされていた三木城址が、長じて後に、籠城という悲惨な歴史を持つ事実を知った事。藩主別所長治の末裔の方より膨大な資料を託され、心打たれ「敗者の理に光を当てたい」と近著「虹、つどうべし」を書き上げた事。

水を飲む間もなく、一時間半語り続けて下さいました。我々が息つく間もなく、聞き入っていたのは言うまでもありません。

講演後のサイン会は、勿論長蛇の列となりましたが、握手や写真撮影にも気軽に応じて下さり、また一人一人立ち上がってご挨拶下さり、お心配りの見事さにも感服致しました。

玉岡先生、本当にどうもありがとうございました。

遠藤 佳代 (大33期)

平成27年度 定時総会、 講演会、懇親会

平成二十七年五月三〇日（土）

に心齋橋のホテル日航大阪で平成二十七年定時総会、講演会、懇親会が開催されました。

三時から始まった総会では、各担当から報告事項のあと平成二十七年予算の議案等が滞りなく可決されました。また平成二十六年で任期がきた会長、監事の選出が行われ、会長には大27期岡谷親男先生、監事には大19期戸倉良樹先生と大27期倉田博幸先生が平成二十六年に引き続き選出されました。岡谷執行部は三期



目となります。

三時半からは、3Dシステムで有名な大29期花田信弘先生をお招きしての講演会でした。

講演は、最新の知見をふんだんに盛り込んだもので、これからの歯科医療が進むべき方向性を指し示すフロンティア的内容で、もっと詳しく聞きたくなる充実した講演でした。

懇親会では、大40期高濱勉先生によってリニューアルされた大阪府同窓会二代目ホームページが初披露されました。これまでの大阪府同窓会ホームページは、大阪府同窓会創設七〇周年記念事業の一環として平成一八年九月に、故山本克彦会長の命をうけた大29期西本達哉先生が手作りで開設されたものでした。当時は、ホームページを業者に作ってもらうと五〇万円必要とも一〇〇万円必要とも言われていた時代でした。そんな時代なので、全国の都道府県同窓会とも

とより、同窓会本部ですらホームページを持っていない時代で、西本先生がおられたからこそ可能となった、IT活用の最先端をゆく画期的なホームページでした。

このような素晴らしいホームページの跡を継ぐのはさぞかしプレッシャーであろうとIT音痴の素人は思うのですが、さすがは高濱先生です。アイデアをふんだんに盛り込み、今までなかった新機能満載で、今回の二代目ホームページも、他の都道府県同窓会や本部ホームページの一〇年先をゆく画期的なホームページとして生まれ変わりました。よかったら今から一度、新ホームページをご覧ください。



URL <http://kyushi-osakadoso.jindo.com/>

トップページの画面左上右上にある三本線をクリックしていただくと目次が表示され、各ページの閲覧ができます。会員専用ページパスワードは、大阪府同窓会が創設された一九三五年四月にちなんで、半角数字六桁の193504です。パスワードをお忘れの際には、ホームページの沿革に昭和一〇年四月（一九三五）大阪府同窓会創設の記事がありますので、そこから思い出してください。

懇親会のあとは心齋橋の街に繰り出しての二次会兼新入会員歓迎会が行われ、今年も七名もの新入会員を迎えることができました。二次会では女性会員の参加者が多



(大33期 加藤 聡)

く、その場で女子会開催が決まり盛り上がりました。九月一二日(土)の夜に開催だそうです。詳細が決まりましたらホームページやメールを通して女性会員のみなさんに参加を呼びかけることになると思います。今から予定表に書き込んでおいてください。当然のことながら、男子禁制です(笑)午後三時の総会から始まり、新入会員歓迎会兼二次会が終わった一〇時半まで、七時間を超える長時間がアツと言う間に感じられる、和気あいあいとした大阪府ならではの会でした。

九州歯科大学大阪府同窓会 平成 27 年度 28 年度役員

会 長

岡谷 親男 (大 27 期)

副 会 長

西本 達哉 (大 28 期) IT
長崎 三男 (大 29 期) 組織

青木 修一 (大 29 期) 広報
谷 泰雄 (大 31 期) 総務

専務理事

加藤 聡 (大 33 期)

常務理事

下出 一夫 (大 29 期) 広報	黒澤 治彦 (大 30 期) 組織	大形 篤広 (大 33 期) 会計
東 昭平 (大 38 期) 総務、IT	岩田 和久 (大 38 期) 学術	岡田 克也 (大 39 期) 福祉、組織

理 事

竹森 康仁 (大 33 期) 総務	遠藤 佳代 (大 33 期) 会計	山下 美枝 (大 33 期) 広報
安東 基良 (大 36 期) 組織	砂野 彰宏 (大 37 期) 総務	雲川 秀雄 (大 39 期) 組織
岡本 達也 (大 40 期) 学術	高濱 勉 (大 40 期) IT・学術	千田 大誠 (大 48 期) IT
富山 康二 (大 50 期) 学術・組織	大野麻衣子 (大 51 期) 広報・モニター	辻 卓郎 (大 54 期) 広報
東江 正裕 (大 54 期) 学術		

学術委員

楠元 貴司 (大 39 期) 福重真佐子 (大 46 期) 越智 信行 (大 56 期)

監 事

戸倉 良樹 (大 19 期) 倉田 博幸 (大 27 期)

相 談 役

古庄 列 (大 7 期)	松本 泰雄 (大 9 期)	丸山 輝幹 (大 14 期)	鳥羽 英紀 (大 15 期)
小野 善弘 (大 20 期)	阪上 安輝 (大 21 期)	濱田 傑 (大 26 期)	丹羽 均 (大 32 期)

平成二十七年年度学術講演会

平成二十七年五月三〇日



平成二十七年年度学術講演会は、花田信弘先生（鶴見大学歯学部探索歯学口腔衛生学教授、九州歯科大卒、大29期）をお招きし「歯科医療のコベルニクスの転回・求められるのは健康医への進化」という演題でご講演いただきました。

今後、日本は超高齢化社会を迎えようとしています。その結果歯科医師が高齢者のもとに訪問し、う蝕管理や歯周病の管理を行うようになるであろうと推測されます。

現在若者のう蝕は減少しつつありますが、逆に高齢者のう蝕はさまざま原因により増加しています。特に唾液分泌の減少による根面う蝕が問題となることが多くなっています。

対策としては、フッ化物の応用やアイオノマー等による根面の保護が挙げられます。

次に高齢者の歯周病管理についてですが、歯周病自体の影響はもちろんですが、歯周病菌のLPS（内毒素）が血液内に浸入することにより引き起こされる、糖尿病や心疾患、癌など多くの疾患が重大な問題になるということを、豊

富なデータを提示され分かりやすく解説されました。

今後はLPSの除去に主眼をおいた歯周病管理が必要になるであろう。そのためには、例えば3DSを使用し高齢者自身が、あるいは介護者が歯科医師の指導の下、自宅で管理できるような環境作りが望まれるとの事でありました。

講演の最後に、「我々に求められるのは、病気になる人を減少させることのできる健康医への進化である」という言葉で締めくくられました。

今後の歯科医師としての方向性を考える上で、大変有意義な講演でありました。

文責 大40期 岡本 達也



『本部表彰等を受けられた先生のご紹介』

《本会および都道府県同窓会にあって、20年以上特別の功績のあった者》

H25年度 鳥羽 英紀先生 (大15期)

《第49回大阪市市民表彰 教育功労賞》

長崎 三男先生 (大29期)

《H26年度大阪府歯科保健活動事業功労者表彰 知事表彰》

西本 達哉先生 (大28期)



平成26年度大阪府歯科保健活動事業功労者表彰



※同窓会会員一同、鳥羽先生には改めて感謝申し上げます(大阪府同窓会会長、近畿北陸地区連合会会長、本部同窓会副会長を歴任されました。)と共に、長崎先生、西本先生の両先生には今後ますますのご活躍をご期待申し上げ、心よりお祝い申し上げます。

大学の医局紹介

喜多 正和 (大62期)

こんにちは。62期卒業生喜多正和と申します。この度は今年度私が研修医として、一年間研修させていただいた「大阪歯科大学総合診療・診断科南館」について紹介致します。拙い文章ですが、宜しく願います。

まず、大阪歯科大学での研修医には二つのコースがあります。一つは「総診 西館」総診南館とは別に存在する総診にて、丸一年間研修を行う「単独型」があります。かたや私が選択したのは七ヶ月大学で研修し、残り五ヶ月は外部研修先で研修を行うという「複合型」があります。その中で五月から九月いっぱい五ヶ月間外部研修先へ行くグループと、一〇月から二月いっぱいまで外部研修先へ行くグループに分かれます。「複合型」には様々な診療科が含まれており、国試終了後の二月の終わりに各科それぞれでマッチン

グを行い、所属先の診療科を決定するという流れです。

私が所属していた総診南館では、一人ないし二人の指導医に研修医が一人つくという方式を取っています。指導医の先生方はどの先生も気さくな方で、なんでも気軽に相談することが出来ます。総診南館の特徴として、一人の患者さんを初診からメンテナンスに至るまで診療することがあげ



られます。そのためC処置、歯内治療、歯周治療、補綴処置、外科治療など、幅広く治療に触れ、経験することが出来ます。「私はこれがしたい!!」という専門分野がなければ非常にオススメの診療科です。

診療の他には五ヶ月間の間に各自二回症例発表の課題があります。指導医が患者さんを二人選び、それぞれの患者さんについて、POMRに基づいたスライドを作成し、発表します。発表後の他の指導医や先輩ドクターからの質問タイムがかなり大変ですが、良い経験になるのは間違いありません。また指導医が選ぶ患者さんには例えば高血圧、歯科恐怖症、認知症など何かしらのテーマがあり、歯科治療との関わりを学ぶことが出来ます。その他に今年度から研修医と衛生学校の学生で小学校へ行き、

歯科の知識を学んでもらうという行事が始まりました。ブラッシング指導をしたり、う蝕の原因についてスライドや寸劇を行って指導しました。今年度は初年度でゼロから作り

上げなければいけないのでかなり苦労しましたが、そこそこの評判は良かったかな?という感じでした。最後になりますが、指導医の先生方をはじめ、先輩ドクターも優しい方ばかりで医局の雰囲気も凄くいい所です。もし、大阪歯科大学総診療館に興味があれば私に相談して下さい。宜しくお願います。



診療・経営のヒント

「スタッフの欲求と仕事を結び付ける」

— 欲求と今の自分が一致したとき人は生き生きする —

大28期 福原 稔

吹田市で開業し長らくヘルスプロモーション型予防歯科(医療的な価値観より患者のニーズ・考え・価値観や背景を重視)をやってきた。私も今年で六十二歳になり患者さんも高齢になった。今日はメンテナンスに来てくれたが、次回は元気に来てくれるだろうかと不安にもなる。「一年ずつ入院していた。定期健診に行く生活にもどりがたかった。やっと来た」という患者。「子供のところへ引越す。世話になりました」とわざわざ挨拶来られたりもする。信頼関係という言葉より、お互いがそれぞれの生活の一部、人生の一部になっていたらあつて気づく。

さんの立場に立つことをモットーにした医療と一緒に支え続けてくれたスタッフのおかげでもある。しかし、スタッフとの信頼関係の構築は患者さん以上にむずかしい。利害関係、要求するレベルのための厳しさ、世代の相違など様々な理由はあろう。しかし、患者であれスタッフであれ、信頼関係の原点はコミュニケーションに行きつく。たとえば毎日の朝礼・午前診終礼・午後診終礼、週一回D.E症例会、月一回D.H症例会やミーティングなど様々な機会がある。しかし、重要なのは、機会より質と思う。コミュニケーションの質のイメージは海を泳ぐことに例えることができる。泳ぐことの努力をやめると必ず沈む。泳ぎ続

かけているとやっと小さな島に泳ぎ着くが、そこは東の間の達成・通過点で、とどまることはない。また次の島へと泳ぎだす。では到達点はあるのか。さしずめ自己と他者の距離感であろう。ハリネズミのジレンマという逸話がある。近づきすぎると相手の針で刺されてしまうが、離れていては相手のぬくもりを感じることはできない。このぎりぎりの距離を、リスクをとりながら探る。人は自分の価値観に縛られ、相手の立場に立ちにくい。だから、あえてぶつかり合ってみる。穿り出す。リスクを取りながらも距離感を探り得たとき、対立を乗り越え、コミュニケーションが成り立ったといえる。しかしそれもまた通過点で移ろうものである。このようなコミュニケーションの質をめざすなら、様々な機会をシステムとして日常の流れの中に常態化していくことが肝要になる。すると、あえてぶつかるためにテンションを高め、意気込みながら言わば「いや事」をテーマにする気持ちのハードルは低くなる。たとえば、ハウレンソウなどのシステム化、個人面談を常態化、直接的なコミュニ

ケーションをタイムリーにとる癖。

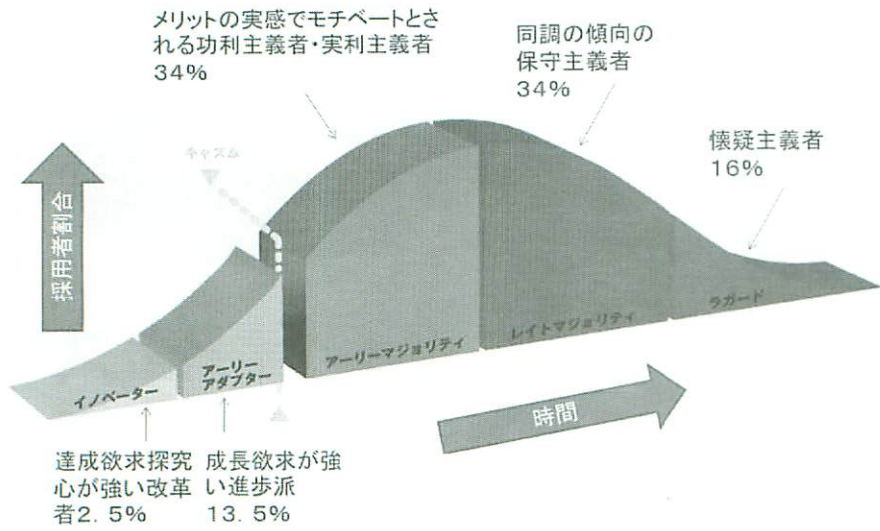
開業以来ずっと新卒DH中心に教育し育てる方針であった。最近、新卒の採用難から、キャリア中心である。いまのキャリア衛生士は知識・スキルとともに人生経験も豊富。自分の価値観がはっきりしている。自分を客観的にも見れる。そして患者さんの方を向く(患者の立場にも立てる)。それらを可能にするのは、仕事に対する姿勢が自己の欲求に根差しているからと考える。そのことが分かったのは、口腔関連筋のリラクゼーションとリハビリテーションを取り入れる改革をおこなった時であった。改革初期の段階は、イノベーション普及理論が言うところのスキルへの達成欲求・探究と、スキルを求める成長欲求があるDH(アーリーアダプター)、両者が頑張った。それは初期段階のイノベーション採用者は、自分に対する内向きの価値観で動機づけられるからだ。しかし、次の普及

には容易に超えられない大きな溝(キャズム)があると言われている(キャズム理論)。

このキャズムを乗り越えるべく、システム化に取り組んだ。すると、自らうまく自己の欲求(承認欲求など)と合理化し改革を受け入れるもの、システム化の強制力から来る様々なストレスと葛藤の中にいながらも改革を採用して

いく者さままであった。共通して自分から外向きの欲求・価値観が大きく関与していた。

一方、若いDHは自らの欲求・価値観を仕事に生かすことは少ない。そもそも自分の欲求に気づいていない。そこで「欲求・価値観をテーマにした個人面談」が求められる。まず自分の欲求(自分は本当にやりたい事・どんな自分になりたいか)に気付かせ、その実現のステップが仕事の中にあるというところに気づかせ、サポートし達成させる。スタッフの自己実現のサポートである。このようなそんな個人面談をめざすのである。大変な労力が必要。とどまることのない医院づくりには明け暮れ、満身創痍のこの自分に、若いDHをこれからも教育するモチベーションが残されてるか疑わしい。しかし、システム化というささやかな導きで自らを動機づけるキャリアのスタッフと共に、患者さんのための診療室をさらにバージョンアップしていくことは、現役として残された時間の少ない私には楽しみではある。



達成欲求探究心が強い改革者 2.5%
成長欲求が強い進歩派 13.5%

●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●

第2の人生

宇野 一雄(大29期)

大学を卒業して三十数年、息子と一緒に仕事するようになるなんて考えていたのだろうか? 開業してからの人生を振り返ってみる。

昭和五十九年八月何のゆかりもない松原市で開業!! 単に勤めていた労災病院に近いというだけで保証人は家内、担保もなく、まだ銀行から借りただけ今の若い人よりましな時代。

最初の一〇年借金を返すため馬車馬のごとく働く。

ふと思うと人生の大半の時間を診療所や歯科医師会のために過ごしている。

何かに没頭したいという気持ちでいろいろ模索しているうちに、中学時代に燃えていた卓球に行きつき、診療所にしようと思っていた場所に平成十二年 九十六坪に卓球台五台のエレファントTTC卓球場を建てることに。その当時は月に三日試合に行くほど没頭〜。

学生に勝てないので、だんだん足

が遠のくが今も週二回は汗を流す。肩書は卓球場のオーナーということになっていくが、卓球場は卓球関係の若い者に任せ、約十五年たった今近大、阪南大出身のコーチを置いて下町のクラブチームとしてはそこそこ名が売れています。

他に燃えるものがないかと思っていた頃、五十八歳の正月 体重計にのると七〇キ弱・・・。

大学卒業時五十四キだったぞ!! ジョグをして体重を落とそう。そのうちネットでランニングチームを見つけ練習会にも参加! 走るたびに体重が落ちるのが楽しくて月一五〇〜二五〇キ走ることに。六十四キまで体重は減ったものの、ごはんがおいしくなり、食べる量も半端じゃなくなり六十五キをさまよう。

この四年で大阪マラソン三回、神戸マラソン二回、東京マラソン一回、北九州マラソン一回その他ハーフ等いろいろ・・・いつも家内が応援



の追っかけしてくれているのが、今も続けている理由かもしれない。

家内も五キロまでなら走れるので、金沢城下町マラソン、西脇マラソンの短いレース頑張ってます。今年は大坂マラソンチャレンジの部(八・八キ) 申込みしてさすが抽選に当たることやら(笑) 今年の一月で記録つけて九〇〇キ。あと一〇〇キ走ったらまた人生が変わるかもしれないので頑張るつもり!!

そうそうダイビングも夫婦で資格取って十年、南の島専門で本数は一〇〇本ぐらいしか潜っていませんが、毎年沖繩、フィリピン、グアム、パラオなどに潜りに行って命の洗濯しています。

人生一度しかないので六〇過ぎ



てから無駄なことに自分の時間を取られたくない。

仕事以外は歯科業界から離れて、いろんな人に出会いそしていろんなどこに行って人生を楽しむ。今年六十二歳・・・まだまだ遊び足りませんあ〜。

おめでと〜ございます。
ありがとうございます。

西本達哉先生。

下出 一夫(大29期)

H二十六年度の大坂府知事表彰を歯科保健活動事業功労者として、この春にお受けになられた一年先輩の西本先生について、『会員だより』(筆者の自由文投稿欄、です)の中ではありませんが、編集委員長として、後輩として、一筆執らせて頂きます。

先生に直接取材させてもらったことを先ず書かせて頂きます。表彰式は、三月一九日に府庁であったそうで、大阪府の保健部長から表彰状をひとりひとりに手渡され、大阪府歯科医師会太田謙司会長も来て下さったとのこと。H二十一〜二十六年度の三期六年にわたって、代々大阪歯科大学出

身者のお名前が並ぶ天王寺区歯科医師会の会長職を務め上げられたことが、表彰の根拠と思われれます。

三期目は、法人化を推進する先頭に立たれ、一般社団法人大阪市天王寺区歯科医師会の初代代表理事になられたとのことです。五月九日には、堂島ホテル地下の「瑞苑」にて祝賀会があり、天王寺区歯科医師会からも二〇数名の方がお集まり下さったとの事です。

大学の頃、硬式テニス部所属で真面目そうな、しかし、気骨のある一学年上の同じ大阪御出身の先輩がおられました。私は、大好きな（腕前は？）硬式野球部に入っておりだったので、同じ体育会系の先輩として近づかせて頂きました。関西人会などのコンパでは必ずお会いするのですが、いつもお静かに、しかし最後までしっかりとお飲みになられていたと思えます。勉強もしっかりされているという雰囲気、自分にとって、快い先輩でした。

卒業後は、大阪大学の大学院で口腔解剖学を専攻され、ご開業後は大阪府歯科医師会附属歯科衛生士専門学校教員もされ、二年生の途中で逃げ出しはしましたが、

うちの娘も西本先生から教わりました。御家で飼われている猫が写ったスライドなどを駆使されての講義は、学生に評判だったようです。因みに、途中退学した娘は、今では三児の母親で、スキー場で有名な長野県野沢温泉村で温泉旅館で暮らしています。話がそれて申し訳ありませんが、スキーや温泉旅行の際はお声をおかけ下さい。

大阪府同窓会においては、本当に永年、総務や会計理事を担当いただき、今の同窓会の会務運営の基礎作りをして下さいました。私が担当させて頂いています広報づくりにも、何度も投稿して下さい、また、ご相談や発送のお手伝いも幾度となくお願いいたしました。

なに歯だよりの前号に、西本先生の『アルコール伝説』が掲載されていますが、西本先生の尊敬すべきところの最大のひとつが、飲めないのに飲む、という人付き合いの良さ、或は、少々無茶な気分転換法です。私も飲めないのに飲む方なのですが、スケールが違います。

人の前面に立ち、また、裏も支えてくださる西本先生は、同窓会の宝です。今後ともよろしく願います。



ボケずに生きるには？

藤原 正彦 (大35期)

私は、今からおよそ三十五年前に両親に無断で他大学を中退し放浪の末、九州歯科大学に入学。両親を一旦安心させた後、とどめに一年留年をして奈落の底に突き落とした経歴があります。(今のようには社会に出られなかつたはず)

その報いか、両親は二人とも認知症を患い、着々とその時の報復を仕掛けています。

あの手この手の作話、幻視、幻聴。介護拒否に物忘れ。無気力、無関心・・・一般的な認知症患者さんの症状は、ほぼ網羅しています。因果応報を感じますが、笑い事ではありません。遺伝的に自分が認知症患者になる日は、刻一刻と迫ってきています。

アンジェリーナ・ジョリーのよう脳を予防的に切除するわけにもいかず・・・健康雑誌に書かれていることを

日々実践し、予防に努めています。「物忘れ」は止まりません。

患者さんの顔は思い出すが名前はない、器具、薬品の名前が出ない、「これ」「それ」「あれ」のオンパレード！ 子供によくそれで会話が成り立つなあ？と呆れられても出ない固有名詞は出ない！！ご年配の先生方は、多かれ少なかれ経験はおありのはず。

でも、諦めずに脳を酷使し鍛えましょう。

新しい術式も「あれはアカン！」と食わず嫌いになる前に講習会に出て、トライしてみましよう。

歯科のことだけでなく知識を貪欲に吸収しましょう。疑問に思ったことは携帯を使って調べ、理解するように努力をしましょう。DHAやEPAも効果的です。よく咬んで食事をしましょう。



良質の植物性たんぱく質を摂りましょう。「おととい日記」も物忘れ防止に良いそうです。毎日の積み重ねが大事です。

と、頑張っている私に知り合いの会計士は一言

「先生、頭を使わんとボーっとしている方がボケまへんで！」

私の甥っ子

雲川 秀雄 (大39期)

片田舎のやんちゃな少年が、突然芸能界にデビュー。身内の者があつげにとられていたら、どんなマスコミに出てきました。

溝端淳平。私の姉(二人姉弟)の末っ子で、甥っ子になります。

人は誰でもその人の人生の転機があります。それが、自発的に自ら造り出す場合もあり、想像もしていないことでも流れに乗って進んでいくこともあります。

彼の職業は俳優です。子供の頃から芸能界に興味があり、俳優になりました。とは聞いていません。本人自身も何だかわからないうちに、たった一度の美少年(?)コンテストに彼の姉が応募したのがきっかけで、プロダク

ションに所属(そこでグランプリになり、それが義務でした)するようになり、何も演技の勉強も決まっていきました。当然ながら慣れないうちは、身内としても演技がひどいものに見えました。

それでも今は、数々の映画・舞台・ドラマ・バラエティー・CMなどを経験し、また多方面の方とお会いして見識を深め、良き職業人になってきています。今では、彼にとつて俳優は天職だと思っているようです。

私たちも職業として「歯科医師」を選択したきっかけは様々だと思います。そして、この職業を通じて今の自分があるわけで、楽しく、充実感を感じながら、日々



2007.01.01

取り組めたらと思います。この写真は淳平がデビュー前に私が撮影しました。上顎の正中離開は、すぐ改善◎。

アナフィラキシーショック

大野 麻衣子 (大51期)

職業柄、時々手首の神経が圧迫されて調子が悪くなり、整形外科を受診します。以前は内服治療でしたが、前回注射を受けてすぐ改善した為、今回も同じ薬(キシロカイン+ケナコルト)を注射してもらいました。

それから三〇分後、病院の隣にある定食屋さんと母と一緒に食事が来るのを待っている時、なんだか急に喉が痛くなり、くしゃみが止まらなくなりました。どんどん鼻がつまってきて口で息をしても息苦しい程でした。

「風邪かな?」と思っていた所、母に「もう一度病院に戻ったら」と進められ、立ち上がると脇腹がピリピリしました。「これは絶対に風邪なんかじゃない」その瞬間に、これはアレルギーだと気づきました。後で聞いた話ですが、この時私の顔はみるみる真っ

赤になつていたそうで、不安がるといけない為、母は私に伝えなかつたんだそうです。

私はすぐに病院に戻りました。たまたま自分の担当の先生がその日の当直だった為、話はすぐに通りまして。先生を待っている間、視界が霞んで来て、小さな紫色の水玉模様が一面に見え、その下の視界全体は黄緑色のフィルターがかかっているような妙な色に見えました。鼻で息が吸えないので、口で吸っていても吸えず、気づけば意識を失って抱えられていました。

すぐに車椅子に乗せてもらい、バイタルを測ってもらおうと血圧は上が九〇台、脈拍数は細かくは忘れましたが多かったことは覚えています。お腹や胃や内臓のあたりがちが痛く、ふるえが止まりませんでした。指先を見ると銅像のような色になっていて、「ふうん。これがチアノーゼかあ……。」と、変に冷静に観察している自分がありました。

まもなく先生が来てくださり、ステロイドの静注をしてくださいました。そうして少し休んでいる間に症状もだいぶましにはなってきましたが、まだ完全ではなく先



生の勧めもあり、救急車でそのまま内科に搬送されました。そこで追加のステロイド静注を受け、終わったのは夜中の三時半過ぎでしたが、おかげさまで命を取り留めました。

一言では書ききれませんが、たまたま注射の後すぐ電車に乗らず、まだ病院の隣に居たこと。母とも一緒だったこと。担当の先生がその日当直だったこと、等。ひとつひとつの偶然に、わたしは護られていたのだと思いました。何か一つでも違っていたら、今私は生きていなかったかもしれないし、何か障害が残っていても不思議ではありません。

すべてに感謝するとともに、私達自身も診療に際して引き起こし得る「アナフィラキシーショック」というものに対し、改めて再認識できるいい機会になりました。

四季の一眼レフ写真

浅見 雄樹 (大54期)

私の趣味のひとつに写真撮影があり、職場が京都なので、京都近郊の紹介が多いですが、四季折々の写真スポットを紹介したいと思います。

春の桜に関しまして、八坂神社、円山公園、清水寺等の名所は、観光客の嵐でいい写真も撮れません。京都府と大阪府の県境で、桂川と宇治川が淀川に合流する場所の、背割堤というところは、堤防に沿ってかなり大きな桜が一キロにわたって満開になります。遊歩道から見るアングルもよし、川沿いから見るアングルもよ



し、意外と満開を過ぎた後の、風で桜がたくさん散っていていく風景もかなりの見ごたえあります。今年見つけたのですが、京都亀岡の和らぎの道という所は、小川に挟まれて桜が咲いており、河原で花見しながら観賞できるのも良かったです。

初夏の六月初旬には、宇治の三室戸寺ではとても鮮やかなアジサイが咲きます。前日に雨が少し降った場合は、滴り落ちそうな水滴と一緒にアジサイを撮るといいショットが撮れそうです。七月末には、兵庫県佐用町で広範囲でヒマワリが咲きます。かなり圧巻です。

秋になると、京都では観光客もかなり多く、朝イチから行動しないとなまったものじゃありません。ベスト1は東福寺。寺内の橋から見る紅葉の美しさには圧倒されます。ただし、橋の上では後

ろからどんな人が押し寄せてくるので、写真は歩きながらしか撮れません。南禅寺やその近くの永観堂は、昼も夜のライトアップもかなり見ごたえがあります。嵐山でしたら、徒歩一時間圏内で、竹林や常寂光寺、二尊院、天龍寺などの紅葉が楽しめますので、一日同じ地区で十分楽しめると思います。

また、奈良公園に行ってみました。紅葉とイチヨウがとても美しかったです。そこに鹿が入ると、また更に風情のある写真が撮れます。

冬は、ほぼ写真を収めてないのですが、年末に雪が降った金閣寺はかなり趣がありました。春先まで開催している三重のなばなの里のイルミネーションは見ごたえあります。

その他に行ってみたのが、コンビニートの工場の夜景です。新幹線に乗車して見える山口の徳山駅周辺のコビナートが今はすごく気になっています。

一眼レフで撮られている先生方でベストな写真スポットがあれば教えてください。よろしくお願いします。

新入会員のご紹介

平成二十六年度は、五人の先生の御入会がありました。そのうち、三名の方より自己紹介のご投稿をいただきました。会員の皆様方どうぞ宜しくお願い申し上げます。

阪田 凱彦 (大16期)

①大阪星光学院高校ラグビー部

②和歌山県、兵庫県で勤務の後、東京 青山、川崎市溝の口で勤務医として働き、東京都港区芝で約一〇年開業しておりました。が、ビル(三階建て)の建て替え(九階建て)を申し出られ、それを機会に一九九八年実家のある大阪へ帰って来ました。

父の跡を継いで兄が開業してました。丁度介護保険が始まる直前で、第二回のケアマネージャーの資格を取得、それに伴い福祉の資格を次々と取得しました。

今までの約一六年間、患者さん

を少し診てましたが、主に母の介護(食事の世話も含めて)全てやって来ました。最後はおむつの世話もしておりました。

デイサービス、訪問リハ、そして火、金は私が車椅子で近くの公園まで連れて行き、軽い体操をし、帰りにスーパーで本人に食材を選んでもらい、喫茶店で母の好きなコーヒーと一緒に楽しみ、家に戻る、という一週間をこなしておりました。

母は昨年この世を去り百か日も終わり、納骨も済ませました。が、急に自由の身になって戸惑いました。今年からは自分の事を考えて行動しようと思っております。

介護関係の各種資格を生かし、歯科と連動できればと思っています。十数年前、九州歯科大学で新入生を対象に、介護保険と抱き合わせに、健康科学の講義を致しました。

④スポーツ。昨十一月に台湾へ〇

Bでの試合に行きました。現在も大阪で陸上クラブに所属しております。

⑤東京での生活が長かったものですので、よろしくお願ひします。

喜多 正和 (大62期)

①大阪府立天王寺高校

ゴルフ部、ビリヤード部

②大阪歯科大学 総合診療・診断科にて研修

③しっかりとしたインフォームド

コンセントを行える歯科医師

④ゴルフ、野球観戦

⑤宜しくお願ひします

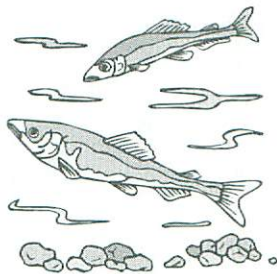
①関西学院高校 硬式野球部
本城 裕也 (大62期)

②大阪大学口腔総合診療部で研修中

③固定観念にとらわれず広い視野と興味を持ち続け、自分の限界を設けない歯科医師になり、地域の人たち、自分の家族と幸せな生活を送りたい。

④野球、F1、読書、プラモデル、旅行、写真、コーヒー、……たくさんです。

⑤これから同窓会の先生方にはたくさんお世話になると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。



新入会員の自己紹介

氏名	ふりがな
出身高校 大学時の所属クラブ	①
卒業後の経歴 現況報告	②
将来の夢	③
趣味	④
同窓会への希望	⑤

①岡谷親男先生(大27期)の推薦書籍

『ぼくらの祖国』

『ぼくらの真実』 青山 繁晴著

※著者は、ご存知の方も多いと思いますが、昨年、本会主催の医道高揚講演会に演者として来られました。日本人としての誇りと勇気を与えてくれる著書です。

②青木修一先生(大29期)の推薦書籍

『小林カツ代のお料理入門』

(文春新書)

※全くの初心者(つまり私のような人)でも、下さしらすや手順に煩わされることなくいきなり料理の核心へそが理解できるハンドブック。ハンバーグや肉ジャガなど、自分が食べたいと思うもの作り方が、レシピとして必要にして十分に描かれている。のみならず読み物としておもしろい。
以下本文より。

■ひとりすぎ焼き

なぜか心動かされませんか、自分だけで抱かえて食べる。淋しいなんてとんでもない。説明しがたいワクワクがある。

■オムライス

まず言わせて下さい。断じて高級料理風オムライスは間違っている! ねっ?

■ご飯に塩だけ

ご飯は炊きたての上澄みが一番美味しい。お釜の底にいる米はいわば下積みの子なんです。それに塩をまぶして食べるのが一番うまし。塩分の取りすぎとかへチマとか言いますがかまわない。
等等 テンポのいい講談を聞いているようで、料理本がエ



ンターテイメントになっています。

奥様に全面的に食事を作ってもらっているアナタ。自分でチャチャッと一〇分で作って、のんびり美味しく食べられる料理ってゴマンとあるんですね。

平成二十六年十二月二十一日、アールエフ大阪支店にて、吉岡泉先生(九州歯科大学口腔内科学教授 九州歯科大学卒 大39期)をお招きし、ワシントンコイン講習会が行われました。

前半は「口腔内科が目指すもの」と題し口腔内科の現状を解説されました。

口腔内科は、二〇一三年、九州歯科大に新設され吉岡先生が初代教授に就任されました。治療内容として、高齢者や全身疾患を持つ患者の口腔機能の管理、合併症や副作用としての口腔疾患の加療、化学療法や放射線療法などの低侵襲治療、舌痛症のような内科的疾患の加療等が挙げられます。

一方、学生教育にも力を入れられており、特に近年は国家試験のレベルが上がり、歯科医師であつても全身疾患に関するこ

となど、深い知識が要求されつつあるという事でした。

後半は「こだわりの小手術(安全で安心な手術をするた

ワシントンコイン講習会

めに)」という演題で、歯科外来で行われる小手術や抜歯について症例を示され解説されました。

外科手術において特に大切なのは、直視下で施術できるような術野を大きく開けることと解剖学的な知識を十分に持つことであると強調されました。また、最近、下顎智歯の抜歯の際、舌神経の損傷による知覚麻痺のトラブルが増えており、くれぐれも慎重に扱うよう述べられました。

二つのテーマに関し、非常にいいねいかつ分かりやすく解説して頂き、参加者一同大変満足いく講習会となりました。

講習会終了後は、梅田に移動し懇親会が行われました。吉岡先生もご多忙のなかご参加いただき、色々な質問にお答えになられたり、クラブ(弓道部)のOBの先生方と思い出話に花を咲かせたりしておられました。



今後ワシントンコイン講習会を企画していく予定です。皆様のご参加お待ちしております。

(文責 岡本 達也)

福祉活動報告

青木 修一 (大29期)

昨年八月一六日(土)に、毎夏恒例となった九齒大同窓会近畿北陸地区連合会主催の「サマー懇親会」が、ニューミュンヘン南大使館にて盛大に開催されました。

近畿北陸地区の会員、本部役員、大学の教授、そして主役の学生、と幅広い世代、総勢九〇人の方に参加いただき、いろいろ話しました。

学生の方には、歯科医になったらどんな生活するのかな、とか、就職はどんな風に考えたらいいのかな、とか気楽にビール飲みながら相談してもらえばと思います。OBもあんまり話す機会がないので、これは貴重な時間です。



今年も、お盆明けの八月二十二日(土)午後6時半より、ホテルグランヴィア大阪19Fパブレストランアブにて、第八回サマー懇親会を開催しますの
で、ぜひブラツと顔見せてください。今年
は、西原学長もご参加
くださいます。

『サマー懇親会 2014』と 『サマー懇親会 2015 へのお誘い』



『家族会』

岡田 克也 (大39期)

H二十六年一〇月一九日(日)、恒例の家族会が開催されました。

阿倍野防災センターにて体験学習の後、六〇F地上三〇〇m日本で最も高いアペノハルカスのレストランでバイキング料理を戴きました。

防災センターについては、九州歯科大学同窓会報にて「作家で挿し絵画家、何故か歯科医師」の青木先生が詳しく面白くご紹介いただいています。

体験学習の後、歩いてハルカスに向かいましたが、天王寺の変貌ぶりには驚きました。私が中学生の頃はすから三十五年前になります。

その頃はとてもローカルな南海電鉄天下茶屋支線が走っており、戦後闇市のような乱雑さと賑わいがありました。

それが現在では、防災センター近辺を中心として計画された新都市が誕生し、ハルカスにおいては日本一の新名所となり、全国に知れ渡っている状態です。

福祉部では今年度も、ご家族にも喜んでいただける行事を企画し、多くのご参加をお待ちしております。



兵庫大阪同窓会 ゴルフコンペ

岡田 克也 (大39期)

平成二十六年十二月七日(日)
六甲カントリーで恒例の兵庫大阪
同窓会ゴルフコンペが開催されま
した。

この六甲カントリーはプロの
トーナメントも開催される名門
ではありますが、最近ではプレー
フィーが安くなり、それはありが
たいのですが、とても混んでいま
した。反対に今回は参加者が少な
くいつものメンバーで楽ししまし
た。

これからこの会を持続発展させ
て行くためには若手の育成が不可
欠だと思います。

ゴルフコンペに参加している先
生方は、機会あるごとに「ゴルフ
楽しいよ!」「今度打ちっ放し行
こう!」などと誘って下さり、私
も大先輩に無理やり連れられて始
めました。

最初は楽しくなかったですが少

しづつ嵌まってしまい、今ではゴ
ルフ会員権を購入して週一でプロ
のレッスンを仕事が終わってから
受講しています。ほぼ毎日ゴルフ
に関するTV、雑誌のチェックは
欠かせません。

友人もこれで増えまし
た。
今年のコンペでは、
ゴルフデビューされる
先生方とお目にかかれ
る事を願って止みませ
ん。

ゴルフでいろんな方々と知り合
い交流も出来ました。歯科以外の

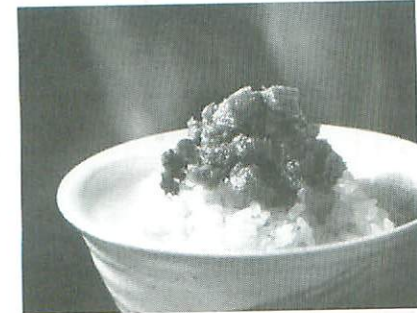


第6回 おすすめの名店シリーズ外伝 一度試してみたかったお取り寄せグルメ編



さて、今回もおすすめの名店シリーズ外伝ということで、一度は試してみたかったお取り寄せグルメ編をお届けしよう。宮城県仙台市のグルメと言えば、やはり牛タンの右に出るものはないでしょう。

その牛タンがラー油になっているなんて！にわかには信じがたいが、複数の某テレビ番組で紹介されていた「牛タンラー油」。食べてみたい……しかし本当にウマいのか!? 半信半疑ながらもオンラインショップの注文ボタン上で右手人差し指にわずかな迷いが



陣中オンラインショップ 冠舌屋
〒983-0005 仙台市宮城野区
福室字御蔵前二番 57-1

☎ 0120-72-3850

<http://kantan-ya.jp/>



生じる……「牛タンラー油」昨今の食べるラー油ブームにただ乗っただけの駄作なのか、それともこのマンネリ化したラー油界の救世主となりうる逸材なのか？何を迷っている！今すぐそこをクリックするんだ!!

その三日後……ついにそのラー油がベールを脱ぐことになる。タイプIV合金の輝きに勝るとも劣らない鮮やかなゴールド色の瓶のふたは、気高い気品すら感じさせる。ラベルには、「具の九割牛タン」とのただし書きが……期待に胸が高鳴る。「!? こっつ、これは……!」

中身の約半分はラー油というだけあってほとんど油。肝心の牛タンは中身の半分程度。確かに「中身の九割牛タン」とは書いていないが。なぜか期待とはズレが生じる。

る。そしてお味の方は、牛タンが結構かためだが、でも噛めば噛むほど牛タンの味が濃くなつてきて。酒のあてに最適!!

その他にも、シンブルにご飯に乗せておいしい。さらにご飯が進む仙台ラー油丼。ご飯の上に、キムチと牛タンラー油とマヨネーズをかけるだけ。

いろいろな楽しみ方ができる「牛タンラー油」。一度試してみたいかがだろうか。

このコーナーでは、先生方の行きつけの名店を紹介させていただきます。心当たりのある方は是非編集委員までご一報ください。決して大きな声で言えないようなお店でも結構です。ただし掲載は袋とじとさせていただきます。

辻 卓朗 (大54期)

《編集後記》

大阪都構想が否決されました。金持の北区とそうでない区では、賛否の比率が違うのが目を引きました。彗星のように現れた橋下徹は、日本エレキテル連合のように消えていくのでしょうか。

(大29期 青木修二)

一年を短く感じてしまうのは脳が退屈しているからだとか何かの本に書いていました。実際、近頃の私には一年はあつという間に過ぎ去るように感じられるのですが、なに歯だより前号からの日々を思うと、イヤイヤ実に色々な事があり、たっぷり日々を思い出させてくれます。皆様のお蔭で本号が出来上がりました。心より御礼申し上げます。

(大33期 山下美枝)

いつも「なに歯だより」をご覧いただきありがとうございます。個人的には来年度の春の開業に向けて準備中でございます。そして、編集委員一同、よりよい、そして大阪府らしい会報をお届けするため、昼夜奮闘しております。今後とも大阪府同窓会をよろしく願います。

(大54期 辻 卓朗)

早いもので「なに歯だより」も十一号になりました。一年経つと、皆さま様々な環境の変化もありません。素敵な時間を積み重ねながら、また一年すごしていきたくですね。

(大51期 大野麻衣子)

年度末の三月発行になっていました本誌を、記事内容に新鮮味が欠けるのを是正するために、定時総会後の六月発行に今回より改めさせて頂きました。このことでご迷惑をおかけしたご寄稿者には改めてお詫言ひ申し上げます。同窓会員の皆様はほっこりするような誌面作りを心掛けますので、今後ともご支援お願い申し上げます。

(大29期 下出 一夫)

エッセイ 第六回

『ナンジャモンジャ?』

山下美枝 (大33期)

アサダ、カツラ、シデ、マユミ、オヒヨウ、カクレミノ、ハナイカダ、ナンジャモンジャ、???。突然ですがこれらは何の名前か御存知ですか? 実は樹木名なのです。少し前に森林の事を学ぶ機会を得ました。一枚の葉で樹木を特定できるインストラクターの豊かな知識に感動し、葉を拾って質問したもの、聞いた事もない名前が頭の中を素通りするだけの状態に奮起。本を買って覚えていきま

い緑は木陰を作り、秋には黄葉・紅葉に変化し、そして葉を落とす。この脈々とした営みに比べ、自分の生を思うと何とひ弱で細かい事か。

した。甲斐あってイチヨウ以外は街路樹と呼んでいた木々がケヤキであり、トウカエデでありと、少しずつ分かっていきました。名前を知ってから、季節の移ろいと共に変化する木々の美しさに気付くようにもなりました。落葉後、枯れ木のようになっていた木が新芽をつけ、小さなかわいい葉を沢山開かせ、新緑に成長する。夏の濃

因みに街路樹本数一位は、北海道ではナナカマド、本州はイチヨウ、四国はクスノキで、九州はサクラ類だそう。日本全体でも又大阪でもイチヨウが一位。イチヨウは中国原産で雌雄異株、現存する唯一のイチヨウ綱であり、生きた化石としてレッドリストの絶滅危惧IB類に指定されています。秋の御堂筋を黄金色に染めるイチヨウ並木は大阪のシンボルです。千本近いうちの1/4ほどは雌株ですが、将来的には全て雄株になるようです。

木には実に多くの用途があります。例えば、アイスクリームステイックにはシラカバ、蒲鉾板に

はモミ類、印鑑にはツゲ、バットにはアオダモやトネリコ、和樽の多くはスギ、などなど、そういえば大学時代の本に木製総義歯が載っていましたね。近年人気急上昇のジャパニーズウイスキーですが、原酒の熟成に世界で初めてミズナラの樽を使用しました。熟成期間は数年から数十年。樽から香りやポリフェノールが滲み出し、長い期間を経て伽羅や白檀に例えられる芳香へと変化するそうです。何とも神秘的ですね。

植物が生命維持や成長促進のために、葉や幹から発散する揮発性物質をフィトンチッドと言います。森林浴とはこれらを浴びる事を言い、癒しの効果があります。春から夏にかけてフィトンチッドの量が一年で最も多い時期です。木漏れ日や、そよ吹く風に土や草の匂い、小鳥のさえずり、小川のせせらぎ、……。

時には森に入ってみませんか。



【メルアド、住所等変更届のお願い】

宛先不明で戻ってくるメールや郵便物が多く、担当者が大変困っています。
メルアド、住所、勤務先が変わった際には忘れずにお知らせください。

メールでの連絡先

九州歯科大学大阪府同窓会
kdcosaka@gmail.com

郵便での連絡先

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島1-3-9
スモカビル2F 岡谷歯科医院内
九州歯科大学大阪府同窓会事務局